

# 京都市 農林業だより

発行 京都市産業観光局農林振興室農政企画課

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地 電話 (075) 222-3351



## 京の農林秋まつり



天候不順により、生育が心配された野菜でしたが、当日は立派な九条ねぎや水菜、大根などがたくさん並び、好評を博しました！

去る11月5日(土)、『京の農林秋まつり』が伏見区・中書島の伏見港公園で開催されました。今年「伝えたい 食の文化と地域の魅力」をテーマに、京野菜を使ったおぼんざいや伏見の地酒を味わえる「京の食文化コーナー」を設置。爽やかな秋空の下、紅葉に彩られた会場のあちこちで、訪れた人々が京都ならではの味覚に舌鼓をうち、買い物や加工体験などを思い思いに楽しむ姿が見られました。

また、京阪電鉄主催ウォーキングイベントと連携したことも集客につながり、当日は約1万8千人の来場者で賑わいました。

### 開催予告 第3回 『冬の京野菜まつり』

日時：平成29年1月28日(土)  
午前11時～午後3時

場所：京都市役所前広場

内容：京野菜の販売、京野菜を使用した料理の試食・販売、日本酒の飲み比べ、品評会表彰式など

問合せ先 林業振興課 Tel 075-222-3346

本市では、森林の健全な育成や林業の活性化等を図るため、木材需要拡大事業の一環として、市内の間伐材等からつくられた燃料「木質ペレット」の普及を推進しています。

木質ペレットは、大気中の二酸化炭素を増やさないため、地球温暖化の防止等にも貢献する環境にやさしい再生可能エネルギーです。

このため本市では、木質ペレットを燃料とするボイラーやストーブの購入・設置に対する補助を行っております。

木質ペレットや補助制度等に興味をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。

### 木質ペレットのある暮らしを始めてみませんか？ 『京の農林秋まつり』でも大盛況！



# 京の花絵巻 in 東寺



去る10月29日(土)に、京都市花き振興協会主催の『京の花絵巻 in 東寺』が初めて開催されました。

花いけバトルをはじめ、いけばな展示や薬師如来像への献花、京都のトップフローリストによる花き装飾デモンストレーション等が実施されました。

今後、多くの方に花に関心を持ってもらい、「花と言えば京都」と、イメージしてもらえよう、花業界の皆さんが様々な取組を積極的に展開されます。

## 地域の New Face! 第4回

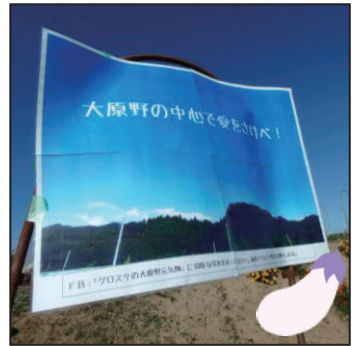
田中 宏明さん  
(西京区大原野)

田中さんは市内農家の下で研修を受けたのち、平成25年に西京区大原野で就農されました。田中さんのユーモアたっぷりのナス畑には、バンカープランツとして植えたマリイゴルドで「I LOVE YOU」の文字が。「大原野の中心で愛を叫べ！」プロジェクトと題し、地域の方の目を楽しませています。

地域の朝市やスーパーでは、「クロスケの大原野元気畑」という屋号で販売し、他にも工夫を凝らすことで注目を集めています。



例えば、農家が早朝4時からナスを収穫している苦労を少しでも知ってもらおうと、「よじなす」と名付けたナスや、原木を自ら山へ伐採に行き、急な斜面を転がしながら持って降りてきたエピソードから名付けた「命がけしいたけ」等、ネーミングセンスの光る野菜が並びます。「どうせするなら面白く！」と語る田中さんが育っています。



### 洛北農業クラブ創立50周年

上賀茂・大宮・朱雀野の若手農業者から構成される、洛北農業クラブが創立50周年を迎えました。

これまで100名以上の農業者が入会し、現在のメンバーの中には設立当初から数えて3代目の後継者となる方もいらっしゃいます。

クラブでは、研修会や交流会の開催、京の農林秋まつりへの参加、ふれあい体験農場の運営等に積極的に取り組んでいます。

10月21日には72名の農業者が参加して50周年記念祝宴を開催し、OBと現役メンバーが世代を超えた農業談義に花を咲かせました。

本市の伝統産業のひとつである「和蝋燭」の原料・「櫨蠟」の枯渇が、全国的に危惧されていることから、本市では右京区京北地域において、民間企業や教育機関、研究機関等と連携し、蠟を採取する櫨の木の育成に取り組んでいます。

売上げの一部を京北地域の森づくりに役立てる商品が(有)中村ローソクから販売されたり、京都府立北桑田高等学校では生徒が櫨について学び、実際に苗木の移植作業等を経験するカリキュラムが組まれるなど、本取組の輪は地域へも広がっています。

今後、本取組は中山間地域の新たな地域資源として、総合所得の向上や紅葉による美しい景観づくりに貢献することが期待されます。



■高等学校での指導



# 京都「悠之の灯」プロジェクト





# 平成28年産 米穀の需給調整実施状況

京都市内における平成 28 年産の水稲の作付面積が確定しました。市内では下表のとおり、配分された生産数量以下の水稲作付状況となりました。

	配分面積 (㎡)	主食用水稲 作付面積 (㎡)	主食用水稲 作付率	参 考	
				加工用米 作付面積 (㎡)	新規需要米 作付面積 (㎡)
京都市 (京北を除く)	9,600,000	9,156,415	95.4%	159,350	75,191
京 北	3,078,300	2,902,244	94.3%	176,298	—
合 計	12,678,300	12,058,659	95.1%	335,648	75,191

また、今年も加工用米や新規需要米（飼料用米）の生産取組が継続して行われました。

平成 30 年には米政策の転換も控えていますので「京都米にこだわった酒づくり」等の特産品づくりを通して、実需者との結びつきを強め、安定した取引が継続できるよう、需要に応じた米・農産物の生産を進めましょう。



シカやイノシシ等の野生動物の農地や市街地への出没が増え、農作物等に被害を及ぼしています。本市では、有害鳥獣捕獲を実施していますが、より確実に農作物を守るためには、野生動物を農地や市街地に寄せ付けない工夫が必要です。

## シカやイノシシの被害を防ぎましょう

✓ **エサとなるものを放置しない！**

野菜くずなどは、人間にとっては必要でなくても、野生動物にとってはエサとなるため、放置しないようにしましょう。また、柿や栗をはじめとした果樹等を、収穫しないうまま放置しておくとならば野生動物の餌場となります。野生動物を誘引しないように、適切に管理しましょう。

✓ **侵入を防ぐ！**

野生動物の侵入を防ぐためには、防護柵（電気柵・金網柵）の設置が有効です。

- ・電気柵…比較的安価かつ手軽に設置できますが、漏電を防ぐため、草刈等の作業が必要ですが、なお、適切に電気柵を使用すれば、事故の心配はありません。
- ・金網柵…既製品のほか、ホームセンター等で購入できるワイヤーメッシュを使用した金網柵等があります。電気柵に比べると高価で設置には手間がかかりますが、適切に施工すれば高い効果を発揮します。

また、野生動物は積極的に人を襲うものではありません。必要以上に恐れず、冷静に対応しましょう。

本市は、日本の中でも有数の高品質な「たけのこ」の産地であり、「たけのこ」の品質は、施肥・除草・親竹の更新・土入れ等を行う「京都市軟化栽培」という伝統的な栽培方法により、丹念に竹林を手入れすることで保たれてきました。また、この手入れにより、今日においても本市の風光明媚な竹林風景が守られています。

しかし、近年、竹林所有者の高齢化に伴い、重労働の多い竹林の維持管理が大きな課題となっています。また、生産者が減少し、止むを得ず、手入れ不足となっている**竹林**が増えており、景観面でも課題となっています。

そこで、本市では、平成28年度から、良質な「たけのこ」生産に適した西京区大原野の手入れ不足となった**竹林**を再生するための仕組み作りに取り組んでいます。

今回は、その仕組み作りの柱である二つの取組についてご紹介します。

**竹林**が再生し、風光明媚な本市の**竹林**風景が後世に引き継がれていくよう、みんなで力を合わせましょう！



# 甦れ!京の竹林



手入れ不足の竹林



整備された竹林

大変だけど頑張ってにょん!

私を掘ってのん♡



## 取組(1) 農家による再生!

まず一つ目の柱は、「たけのこ」の生産振興による再生です。**竹林**が放置される主な理由として、①所有者の高齢化、②必要な労力が大きいこと、③「たけのこ」の価格低下が挙げられます。

一方で「たけのこ」栽培には高い技術が必要で、特に収穫作業は何年も経験を重ねる必要があります。

そこで、この状況を改善するため、新たな「たけのこ」生産者の育成などを目指した取組を行っています。

その第一歩として、地域の新規就農者が農業経営の一品目として、ベテラン農家の指導を受けながら、「たけのこ」栽培を始めました。

## 取組(2) みんなで再生!

二つ目の柱は、市民グループによる再生です。今年5月に大原野地域の生産農家を対象として実施したアンケートの中で、放置された**竹林**の管理方法の一つとして、「ボランティアによる管理」が挙げられました。

そこで、9月28日から西京区役所及び西京区役所洛西支所と連携して、ボランティアの募集を開始しました。既に趣旨に賛同する市民グループが**竹林**景観の改善に取り組まれています。

## 課題「竹」の利活用

**竹林**を再生した時に問題となるものは何でしょうか。…そう、伐採した大量の**竹**です。過去には、生活用品や建材として利用されていた**竹**。しかし、現在は、プラスチックの台頭により、その利活用が滞っています。

そこで今後は、**竹**の利活用について情報収集及び検討していきます。

西京区マスコットキャラクター 「にしきょう・たけにょん」と「にしきょう・のこたん」

京都市の農業や林業の現地情報、市民の皆様役に役立つ情報を随時紹介しています。

京のあぜ道



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!

